

中高生グループ 「時間がない!でも遊びたい!」 中高生たちがイベントを企画・開催しています。



『竹からうまれたこどもキャンプ ~Bling Bang Bamboo~』 7月26日(金)~28日(日) 千坊川砂防公園キャンプ場 暑い暑い夏のため休憩を多めにしながら、夜ご飯の具材獲得ゲームや水遊び、ナイトウォーク&肝試し。自分たちで割った竹で流したそうめんはおいしくて大成功!体調や時間配分に気を付けながら、いろんな場面で仲間と協力し、一層たくましくなった子どもたち。2日目の早朝登山で見た景色を思い出に挙げた子が多かったようです。



『マンガパーティー』 6月8日(土)~9日(日) 赤田神社 持ち寄ったマンガが好きなだけ読めるお泊り会。広〜い赤田神社で、じっとしているのがもったいないのか、マンガより外遊びが多かったかも!?夜はホタルが飛び交い、徹夜でマンガを読むぞー!と気合いの子もいつの間にか夢の中へ。遊びや調理を通して自然と仲良くなってしまふ2日間でした。

いちいち プレーパーク

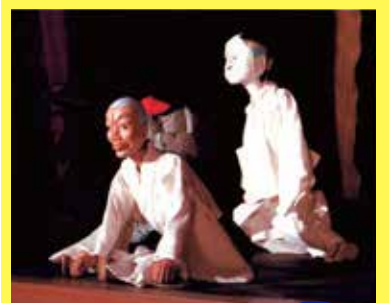


プレーパークの活動を始めて5年。市民にプレーパークを知って、理解してもらうため毎月「いちいちプレーパーク」を市内各所で開催し、様々なイベントにも出展してきました。8月29日(木)「プレーパークを山口に」実行委員会は「山口県農業試験場跡地にプレーパークをつくってください」という要望書を山口市に提出しました。併せて、子どもたちの活動を見守る有償のプレーリーダーの配置も要望しました。

倉庫設置のためのご寄付のお願い 実行委員会は今市公園にプレーパーク用倉庫の設置を予定しています。遊びの道具やタープ等が保管できるようになると、事務局の3階から出入りしている運搬作業が大きく改善されます。しかし、資金面で難航しており、倉庫の設置費用17万円をみなさまのご寄付に頼らざるを得ないのが現状です。子どもたちの遊びが途切れずに広がっていくよう、ご協力お願いいたします。

ご寄付は、プレーパーク、こどもステーション山口事務局 他で受け付けています。詳しくはこちら

先どりシアター



江戸糸あやつり人形「ショ・ジョ・ジ」 2025年3月16日(日) 山口市民会館 小ホール 日本では、江戸時代に始まり江戸を中心に伝えられてきた糸あやつり人形。「手板(ていた)」という操作板と20本前後の糸を遣うことで、日本ならではの繊細で表情豊かな動きを生み出します。本公演は70年以上前の寄席で演じられていた、証誠寺に棲むいたずら好きのタヌキのお話をはじめ、5つの演目を人形の解説もはさみ、お楽しみします。

Line Up

2025舞台鑑賞会の予定 対象年齢 乳幼児 低学年 高学年 変更になることがあります。ご了承ください。 ショ・ジョ・ジ (江戸糸あやつり人形) 3月16日(日) 山口市民会館 小ホール オペラドルフィンとイッパイアッテナ 5月18日(日)《オペラシアターこんやく座》 山口市民会館 大ホール

毎月1回 いちいちプレーパーク開催 毎月第2火曜 幼児クラブモコナ開催

赤れんがだより クリエイティブ・スペース赤れんがはこどもステーション山口が指定管理者となっています。 12月7日(土) 中野振一郎 チェンバロコンサート 「華麗なるロココの饗宴」

こどもステーション山口は 子どもたちが文化芸術に親しんで、心豊かな子ども時代を過ごせることを願って活動しています。プロの舞台芸術に出会う舞台鑑賞会のほかに、キャンプやこどもまつりなど、たくさんのお仲間といっしょに活動できる場をサポート。大人にも、「子どもと共に育ちあう」学習の機会を提供しています。また各地区ブロックでは、会員が地域のつながりを大切にしながら独自の楽しい活動を行っています。

入会お待ちしております...舞台鑑賞会の入場料が無料です! 正会員 月会費2,500円(子どもの登録OK) 子どもの登録料(一人500円/年) 準会員 月会費1,300円(大人だけの参加) 賛助会員 個人会費:一口 5,000円/年 団体会費:一口10,000円/年 ※寄付も随時、募っています。 ※年間3,000円以上ご寄付いただいた方は確定申告により、税額控除が受けられます。

編集後記 ■以前ローリングストックの記事を書いたのに、缶詰をダメにしてしまった。種や飲料は何回もしているのに、缶詰だけ賞味期限の長さに甘えてまだいいやと。来年はなにこども後回ししない人を目指すぞー。(カガタ) ■TV人形劇「プリンプリン物語」が再放送。毎週楽しみにみている。映像の多くが失われていたけど、この度大部分が発掘されたんだって。ユニークな人形やその掛け合い、当時の子どもも今の子どももぜひみてほしい!(クラタ) ■気づけば、息子と手の大きさが同じになっていた。見下るされる日も近いかも。中身の成長にも期待したいけど...。(カキタ)

こどもステーション山口 WEBサイト https://kodomo-st.org 子どものステーション山口の最新情報、さまざまな活動のレポートを紹介しています。

グッドガバナンス 2020(1)0029 非営利組織の信頼性の証である「グッドガバナンス認証マーク」を山口県で初めて取得しました。(2024年3月認証更新) 《「支え人。」としてのご支援をいただいている企業》 ■(株)メルシー ■リンドヴルム ■POLA Sweet 【こどもステーション山口の10月の会員】 正会員95人 準会員51人 子ども登録数173人 計319人

YA! 【こどもステーション山口 広報紙】 2024年11月1日発行 発行:認定NPO法人こどもステーション山口 ご意見・ご感想お待ちしております。 〒753-0047 山口市道場門前2-4-20-2F TEL・FAX 083-925-1486 ☎co26station@yahoo.co.jp OPEN 火~金10:00~17:00

YA! あそぶ・かんじる・そだつ vol.115



アートスタートしませんか? 1p

「はじめの100か月の育ちビジョン」ってなんだ? 2p

舞台鑑賞会 うらがわをちょっとのぞき見 ~ライブマンガ 3p

いちいちプレーパーク 4p



舞台鑑賞会「でべそ版ずっけけ狂言 ぼんさん・ぼんさん キンナンパー」(民族芸能アンサンブル若駒) 円形舞台を取り囲んで、向かい側の友だちのようすも見えました。

アートスタートしませんか?

舞台鑑賞などの文化体験。もう少し大きくなって内容がわかるようになってから、と思いませんか? 感じる力は、0才の赤ちゃんからしっかり持っているようですよ。

小さい頃の文化体験。今まであまりチャンスがなかったかも。 じっとして観れないかも。泣いちゃったりしたら? 二の足を踏んでしまう気持ちもわかります。でも、乳幼児対象のステージならゴソゴソしたって平気です。 乳幼児向けの作品を、こどもステーション山口では「アートスタート」と題して公演してきました。これらは、「ベイビーシアター」「ベイビードラマ」「アーリーエイジ」とも呼ばれる1990年代のヨーロッパから起こった舞台芸術の一分野です。 以前は、乳幼児が「アート」に触られる場所や機会が少なかったのですが、日本でも全国各地の劇場や美術館で企画され始めています。

力、聴く力、感じる力に働きかけます。 環境さえ整えば、小さな子ども作品の世界をしっかりと感じとっているようです。 子どもたちの様子を見てみると、0歳児は、不思議そうに、でも集中して目の前で起こっていることを見つめています。1~2歳、立ち上がって音楽に合わせて全身を動かしています。いわゆる子ども向けの曲でなくても、子どもたちは感じとって体を揺らしていました。3歳くらいになると、芝居の登場人物に声をかける様子も見られます。観入ったり聴き入ったり、お父さんお母さんに抱きついたり、時には走りだしたくなったり。「子どものこんな表情がみられるなんて」という声もよく聞きます。 この時間は、おとなにとっても特別で、演奏される音楽に涙がこぼれるお母さんもいました。

「アート」とは僕の深いもので、正解がないもの、または正解がいっぱいあるもの。子どもにとっても、おとなにとっても、「わたし」の感じ方を大事にしているもの。その時の心の状態でも感じ方が変わってくるでしょう。先ほどのお母さんも、日常の頑張りからふと離れて、緊張の解ける時間になっていたのではないのでしょうか。 そんな心の変化を少しでも感じられたら、次の日からの親子の時間に新しいエッセンスが加わるかもしれません。

昔のように大家族や地域で育てる子育てが減って



クツをぬいでカーペットの上でゆったりと





もらえるかもしれません。  
心の世界をひろげてくれる、日常の目の前の景色から、少し違う角度で世界を見せてくれる、舞台をみることはそんな一つになれるのではないかと思います。

こどもステーション山口では、全国各地からプロの演者、劇団を招いて、舞台作品を公演しています。  
舞台劇、音楽、人形劇、パフォーマンスなどジャンルも様々。乳幼児対象から、低学年対象、高学年・おとな対象と全年齢を通して楽しめるよう企画してきました。赤ちゃんに限らず、どの年齢からでもアートスタートしてみてください。  
赤ちゃんからおとなまで生涯を通して文化芸術に触れる機会をもてる、私たちの住む山口市もそんなまちになってほしい、と願っています。(クラタ)

→1ページから  
きた現代。乳幼児期の子育ては「いつも家で2人でどう過ごせばよいかわからなかった」との声も聞きます。  
子どもにとっても、家族以外の、いっしょにみているひとたちの様子も感じながら、初めて観る聴く新しい世界。公演のあとに楽器や舞台セットにふれたり、演者さんとの交流タイムがあるものもあり、新しい興味や遊びのヒントを

## 2024年



### グレゴの音楽一座 Hello☆Babies

6月22日(土) C・S赤れんが  
いろんな音につつまれて、ゆったりやわらかな時間。ちょうちょも虫もやってきて、まるで夢の国のように。  
●とっても温かな雰囲気と音色に親の心が癒されました。  
●初めてのステージだったので集中してみていました!



### 民族芸能アンサンブル若駒 はるなつあきふゆ あそぼあそぼ

9月7日(土) C・S赤れんが  
ネズミさんとネコさんのいちねんかん。わらべ歌や和楽器の音色に耳をすまします。  
●はじめて夢中になって目で追っている姿を見ました。  
●おふたりの重なる歌声がステキだった。子どもが動きや音に釘付けでした。



### カエルちゃんオフィス ケロポンズえほんライブ

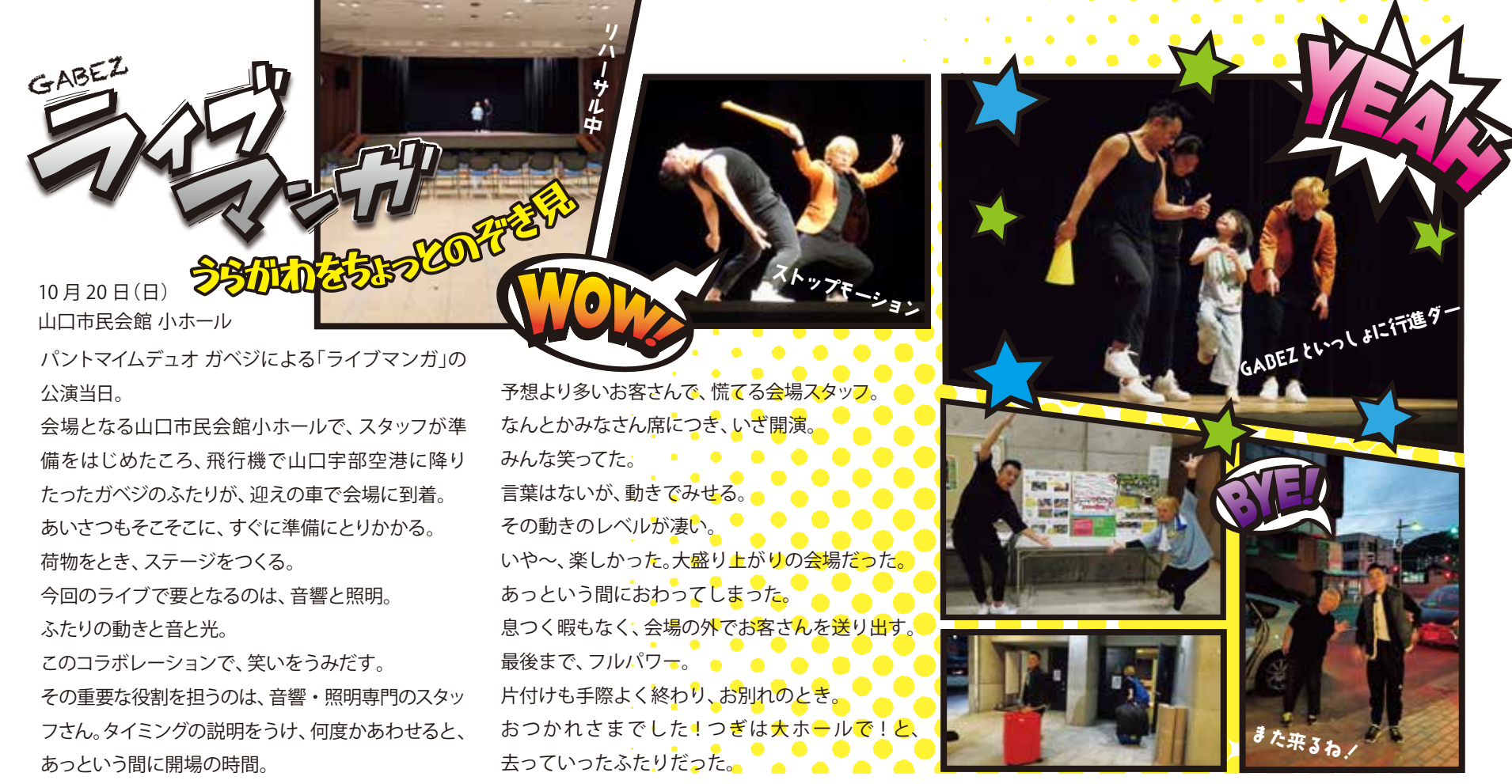
10月12日(土) 山口市民会館 小ホール  
元気いっぱいケロポンズ。パネルシアターや絵本のよみきかせ。幸せな笑い声がひびきます。もちろん、エビカニクスも!  
●しゃべりかたがやわらかくて、ゆったりと見られました。1才半でまだケロポンズさんの認識はできていませんが、曲が流れるとおどります。

## アートスタートしませんか?



さまざまな乳幼児対象作品を、公演してきました。

- 2022年**
- 5月 音楽 サウンドポケット 0さいからのピアノカ LIVE
  - 6月 人形劇 人形劇団のはなののはなげきじょう
  - 7月 影絵劇 想造舎 影絵音楽団くぶくぶ おひざでだっこ がたんごとん がたんごとん
- 2023年**
- 6月 音楽 マリンバ・カンパニー 0さいからの音楽会
  - 8月 絵本 とよたかずひこ 絵本ライブ
  - 8月 人形劇 人形劇団ブーク きんぎょがにげた



10月20日(日)  
山口市民会館 小ホール  
パントマイムデュオ ガベジによる「ライブマンガ」の公演当日。  
会場となる山口市民会館小ホールで、スタッフが準備をはじめたころ、飛行機で山口宇部空港に降りたつたガベジのふたりが、迎える車で会場に到着。あいさつもそこそこに、すぐに準備にとりかかる。荷物をとぎ、ステージをつくる。  
今回のライブで要となるのは、音響と照明。ふたりの動きと音と光。  
このコラボレーションで、笑いをうみだす。その重要な役割を担うのは、音響・照明専門のスタッフさん。タイミングの説明をうけ、何度かあわせると、あつという間に開場の時間。

予想より多いお客さんで、慌てる会場スタッフ。なんとかみなさん席につき、いざ開演。みんな笑ってた。言葉はないが、動きでみせる。その動きのレベルが凄い。いや〜、楽しかった。大盛り上がりの会場だった。あつという間におわってしまった。息つく暇もなく、会場の外でお客さんを送り出す。最後まで、フルパワー。片付けも手際よく終わり、お別れのとき。おつかれさまでした! つぎは大ホールで! と、去っていったふたりだった。



いろいろみたね! ●銭天堂の世界にすっかり入り込んで観てしまいました。人形の1人ひとりにしっかり命を感じました。(ふしぎ駄菓子屋銭天堂) ●子どもが飽きることなくずっと魅了されていて、ステージもおもしろかったですし、子どもを見ていてもおもしろかったです。(グレゴの音楽一座) ●グレゴさんが大好きになりました。(グレゴの音楽一座) ●円形のお席は大迫力。こんなに動いて笑った舞台ははじめてです!(ぼんさん・ぼんさん ギンナンパー) ●狂言ははじめてでしたが、想像以上の楽しさでした。お客さん参加型なもの良いですね。(ぼんさん・ぼんさん ギンナンパー) ●遊び歌や絵本、パネルシアターなど全部楽しかったです。ポンちゃんが詩を書いた曲、とても心にしみました。(ケロポンズわくわくコンサート) ●パントマイムがおもしろかった。なぜしゃべらないのかなと思ったけど、それがおもしろかった。(ライブマンガ) ●笑ってばかりの1時間でした。(ライブマンガ)

## 「はじめの100か月の育ちビジョン」ってなんだ?

こども基本法、こども家庭庁、こどもまんなか社会…。子どもにまつわるいろんな言葉を、耳にすることが増えてきました。子どもたちの育ちを見守る環境が、国を挙げて少しずつ整い始めています。

ここ最近、新しい言葉に出会いました。「はじめの100か月の育ちビジョン」。なんだかよさそうな話?と思って、少し調べてみました。

はじめの100か月とは…妊娠中から小学校1年生までの期間のこと。(おなかにいるとき10か月、0歳から6歳まで12か月×7=84か月、1年生になるまで0~12か月すべてあわせて94~106か月!)

この時期の子どもの育ちが、そこから先の幸せにつながる、という考えだそう。

置かれた環境に左右されることなく、すべての子どもの「はじめの100か月」をみんな大切にしていきたい、と、こども家庭庁によって令和5年12月22日に策定されました。

その100か月の間に、なにを大切にいくのかということが、5つのポイントでまとめられています。

- こどもの育ちの5つのビジョン
1. こどもの権利と尊厳を守る
  2. 「安心と挑戦の循環」を通してこどものウェルビーイングを高める
  3. 「こどもの誕生前」から切れ目なく育ちを支える
  4. 保護者・養育者のウェルビーイングと成長の支援・応援をする
  5. こどもの育ちを支える環境や社会の厚みを増す
- 子どもを取り巻く環境のなかで浮かび上がってきた課題を、それぞれ解決していくために提案されているこのビジョン。「安心と挑戦の循環」のなかには、「豊かな遊びや体験」というワードも登場します。かねてから問題になっていた「小1の壁」も念頭においた、切れ目のない支援。地域で子育てが難しくなっている時代だからこそ、つながりを大事にした考えのようにみえます。たびたび登場する「ウェルビーイング」とは、身体

的・精神的・社会的に良好な状態を表す言葉。個人だけでなく、地域や社会、すべてがよい状態であることを含みます。  
子どもがいてもいなくても、社会に生きるひとりとして、社会全体で子どもを応援していきましょう。それが、ゆくゆくは自分たちの幸せな生活につながってきますよ、というおおきなおはなしです。日本の子どもたちが、未来を楽しみにこれからの人生を生きていけるように。そのためにはいまのままではいけないと、やっとなが動き出したといえるのかもかもしれません。(カキタ)



## 各地域ブロック それぞれの活動の一部をご紹介します!

### 大殿ブロック 夏のおどのコミュニティ協議会助成事業 夏のこどもひろば 大殿地域交流センター

夏休み中の水曜日の午後、いつきても、なにをしてもいいよ、という時間を作りました。宿題したり、ボードゲームしたり、クップもたのしかったね。  
8/21(水)は、大殿校区で子どもの造形教室を主宰している榎松真実子さんを講師にお呼びして造形ワークショップを開催。コルクを使ってなにつくる? おしゃべりしながら、いろんなものを作りました。



### べすばと音あそび 8月24日(土) 大殿地域交流センター

以前、大殿に住んで活動していた、アコースティックデュオ「べすば」のふたり。おかえりなさいの、あつたかライブになりました。大殿ブロックのメンバーも楽器をもちより、演奏に参加しました。音楽って楽しい!もっと音楽して遊ぼう!そんな気持ちになりました。



### 大歳ブロック 夏の科学実験教室 8月18日(日) 大歳地域交流センター

サイエンスレンジャー 松村浩一さんをお招きして、夏の科学実験教室を開催。シャボン玉の色と太陽光の関係や虹の原理などのお話を聞きました。手作りの実験シートの小さな穴から覗くと、普段は透明な光が分解され、綺麗な虹色に見えました!巨大シャボン玉作りでは「わあ、きれい!」「大きいねー」と大きなシャボン玉に歓声があがり、子どもも大人も夢中で楽しみました。



### 吉敷ブロック 吉敷地域交流センター共催 そうめん流し&すいかわり 8月16日(金) 吉敷地域交流センター

すいかグループとそうめん流しグループに分かれてスタート。大きなすいかはなかなか割れず、「もう少しみぎー!」と応援にも力が入ります。そうめん流しが初めての小さな子や祖父母と一緒に参加する子どもも多く、「あー!流れちゃった!」「ゼリーがとれた!」かわいい声が響く、にぎやかな会でした。



### 「ケロポンズわくわくコンサート」を楽しみに!

南部ブロック & 宮野ブロック & 白石ブロック  
3ブロック合同で舞台鑑賞会「ケロポンズわくわくコンサート」の立て看作り。ネコたちに癒されながら描きました。  
大内ブロック  
舞台鑑賞会「ケロポンズわくわくコンサート」に向けてエビカニミトンやアレンジした目の冠を作りました。

